

Title	2012年度『学会賞』選考結果
Sub Title	
Author	谷口, 祥一(Taniguchi, Shoichi)
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2012
Jtitle	Library and information science No.68 (2012.) ,p.124- 124
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000068-0124

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2012 年度『学会賞』選考結果

学会賞選考委員会委員長

谷 口 祥 一

三田図書館・情報学会 学会賞は、会誌である Library and Information Science に掲載された優れた論文に与えられる賞です。本年度は 66 号と 67 号に掲載された原著論文 7 編を対象に厳正な審査を行った結果、以下の論文を学会賞として選考いたしました。

岡田将彦

大学図書館における無線綴じ図書の損傷

Library and Information Science, No. 66, p. 37-60.

本論文は、無線綴じ図書の損傷について大学図書館における状態調査を実施し、損傷の状況を分析するとともに、複数大学図書館の蔵書管理担当者にインタビュー調査を実施し、損傷への対応を含めた保存体制の現状について明らかにしている。無線綴じ図書を対象とした、著者自身による過去の調査結果を踏まえて新たに調査を再設計の上、大規模大学図書館において約 3,000 冊を対象に、有線・無線綴じの区別の下、無線綴じ図書を対象に表紙の形態、接着剤の種類、綴じの素材、貸出回数、そして損傷の状態（綴じの状態、接着剤の状態、損傷箇所、見開き度、修復の痕跡等）を丁寧に調べている。調査結果も適切に分析されており、状況が的確にまとめられている。続けて、複数の大学図書館の蔵書管理担当者に対して、無線綴じ図書の損傷への認識、損傷図書への対応方法や現在の課題についてインタビュー調査を実施し、現状と課題を明らかにしている。

無線綴じ図書の損傷という、これまであまり注目されてこなかったテーマについて大規模かつ綿密な調査を実施している点、著者自身による以前の調査結果を的確に踏まえた調査を再設計している点、複数の要因間の関係整理を含めた調査結果の丁寧な分析が行われている点は高く評価されるべきものと考えられる。

他方、調査結果から実務的に直接有益な示唆を得るには至っていないこと、無線綴じ図書に特段の認識をもたない蔵書管理担当者へのインタビュー調査が状態調査結果とは直接的に対応しない部分を含むなどの難点も指摘できるが、得られた成果はそれを補って余りあるものである。

今後、本論文が示した方法および成果が、無線綴じ図書にとどまらず、他種の資料の損傷や状態調査へとその適用可能性が検討され、さらなる展開が図られることを期待して、本論文に学会賞を授賞することとした。